

## 【 屋上緑化と省エネシステムの ダブル提案 】

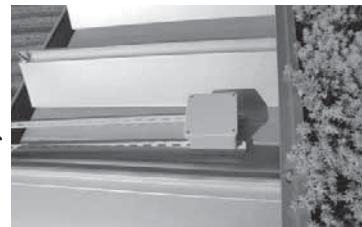
ブルー・ジー・プロ(株)

ブルー・ジー・プロは、空調設備などの電力負荷をコントロールしてデマンド(需要電力)を一定値以下に抑える「デマンドコントロール」と、緑化による環境負荷低減を組み合わせた新たな省エネサービスの販売を強化する。今年4月からスタートした改正省エネ法により、中長年に省エネ対策をとることが求められるようになったことなどを追い風に、屋上緑化の導入を加速させたい考え。セットで導入することにより、一層のCO<sub>2</sub>削減効果を実現できるとしている。

デマンドコントロールには電力会社との取引メータ、パルス検出器、デマンドコントロール盤、インバータ盤などの設備導入

が必要となる。同社は電力使用を抑えることで、浮いた経費を屋上緑化経費に活用する資本回収法を採用。デマンドシステムを得意とする企業らと提携している。電力量削減の省エネシステムと緑化を組み合わせることで、電力の削減のみならず、緑地面積の確保に資金が充てられるメリットがある。

工場立地法などにより、緑化の設置が義務付けられている企業にとっても、緑化導入がさらなる温暖化抑制効果と呼び起こすものとして期待できる。昨年7月に導入した(株)ナテック(愛知県)の製造工場では、省エネシステムと屋上緑化(104m<sup>2</sup>)による投資金額350万円、償却年数が7年。エネルギー削減効果は約61万円を見込んでいる。



ナテックに設置した緑化と計測器